

小 椋 神 社

第 20 号
小椋神社社務所発行
平成 23 年 6 月 1 日
皇紀 2671 年

仰木祭

盛大に斎行

初夏の候、氏子崇敬者の皆様におかれましてはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。五月三日の仰木祭には地域を上げてご協力戴き、おかげさまで例年になく盛大にまた大きなトラブルもなく斎行することができました。と、心より御礼申し上げます。

仕事柄、他社への助勤等で様々なお祭りをご奉仕、拝見しております。とこの仰木祭の氏子の皆様の団結力、五基の神輿の迫力、仰木

特別寄稿 「重層的な仰木祭」

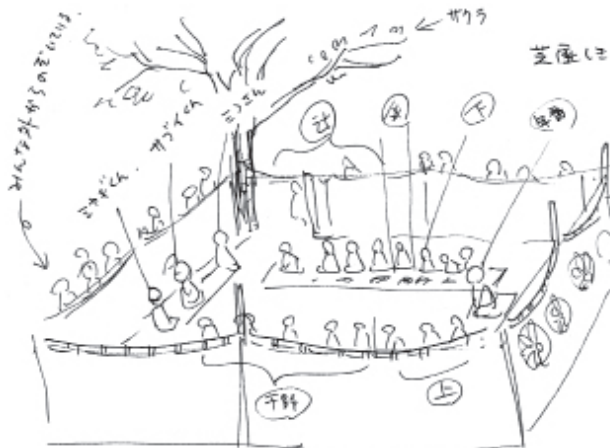
地蔵プロジェクト・代表 谷本 研

私達、地蔵プロジェクトが仰木へ入らせていただくようになって約十年。これまでほぼ毎年、仰木祭を見てきました。にも関わらず、今なお新しい発見や出会いが

あり、その奥深さを実感します。例えば、宮立ちの前に各字で行われる「集来」を同時に全て見ることは不可能で、今年初めて若宮と親村の現場に行くことができました

た。また、いつもは五社いずれかの神輿を追いかけように見ていたところを、今回は主に宮司さんに焦点をあてる形で取材を試みたことで、お宮さんで待ち構える心持ちで「〇〇さんの神輿がすぐく時間かかっているなあ」なんて感想を持つてみた

そして、そういった角度による見え方の違いがあるのと同時に、この十年の間にも、祭り自体のしきたりの変化もあります。神輿かきの足元が藁草履ではなくなったことや、馬乗りさんが宵宮から馬番のお宅に泊まる習わしがなくなったこと。また、もつと昔から祭りを見てこられた仰木の皆さんからお話をうかがうことで、馬場での迎え太鼓が新しく始まったことや、蔵へ戻す



芝座敷の風景

神輿の順番が変わったこと等々、さらに沢山の変化を見てこられたことを知りました。年月とともに少しずつ変化することは世の常なのかも知れませんが、それでも綿々と受け継がれる祭りの根底に、仰木の皆さんの地元への変わらぬ想いを感じます。これからも新しい発見を提供してくれるであろう仰木祭を、ずっと見続けて行きたいと思っています。

スケッチ…谷本研



酒宴の酒肴

仰木祭のスナップ写真を

Web上で販売開始

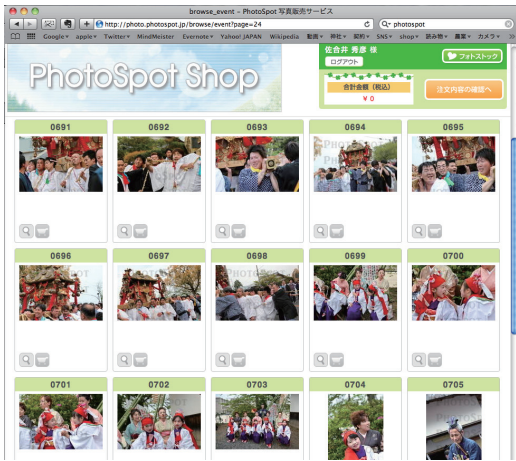
仰木祭に山口写真館が撮影したスナップ写真800点余をフォトスポットショップというWebサイトで販売しております。スナップ1100円

<http://www.photospot.jp>に

アクセスし、イベントコード

6zy62 認証コード 33v9n を

入力後、氏名電話番号等を記入して戴ければご覧いただけます。祭に参加戴いた大部分の方が撮影されておりますのでプロの撮影したひと味違う写真を一度ご覧下さい。詳しくは山口写真館(572-1563)までお問い合わせ下さい。販売期間は八月十四日まで。



水無月のまつり

六月一日

月次祭

六月二十五日

比叡山ヒルクライム前夜祭(詳細未定)

六月三十日

夏越の大祓

6月より社務所にて

大祓人形授与開始

「水無月の

夏越の祓する人は

4歳の命延というなり」

大祓(おおはらえ)は、六月と十二月の晦日に行う除災行事で六月三十日の大祓を夏越の祓(なごしのはらえ)といいます。

私たちが日々の生活の中で知らず知らずの内に犯してしまった罪や身に降りかかった穢れを大祓詞(おおはらえことば)をもって清め祓え去る行事で、宮中では平安時代より行われ、徐々に民間に浸

透した神事です。

大祓人形とは、その罪や穢れを心の隅々まで祓え清めようと「人形(ひとがた)」「紙を人の形に切り抜いたもの」に、氏名と生年月日を書き、さらにその人形で身体を撫でて息を吹きかけ、自分の罪や穢れを移し、大祓の神事にてお清め致します。六月一日より社務所にて授与致しますので是非お受け戴き六月三十日の大祓式までに社務所にお納め下さい。(一セット人形六枚、初穂料五百円より志納)本年も茅の輪を作って茅の輪くぐりの神事も行う計画ですのでぜひお参り下さい。

小屋雨樋・御供所石碑修復

・神力稻荷社鳥居塗装

奉納の御礼

四月に養寛丈太郎様より奉納戴いた小屋の屋根の雨樋を飯田板金様より、傾いていた馬場の御供所石碑の修復と神力稻荷社の鳥居の再塗装を川下造園様にそれぞれご奉仕ご奉納戴きました。飯田様川下様に心より御礼申し上げます。

小椋神社は仰木・仰木の里一帯の鎮守の神様です

人生儀礼は氏神様へ

初宮詣・七五三詣・厄除・安産・交通安全・合格祈願等各種御祈禱謹んでご奉仕致します

ご予約・お問い合わせ

TEL: 077-572-1482

Mail: ogurajinja@mac.com